

名古屋市再開発が 及ぼす経済効果

名古屋大学 柳原ゼミ
近藤 斉藤 田口 中西

アウトライン

1. 研究背景と目的
2. 先行研究
3. 産業連関表の理論・見方
4. 観光消費による経済波及効果の推計
5. まとめ

1. 研究背景と目的

1. 研究背景と目的

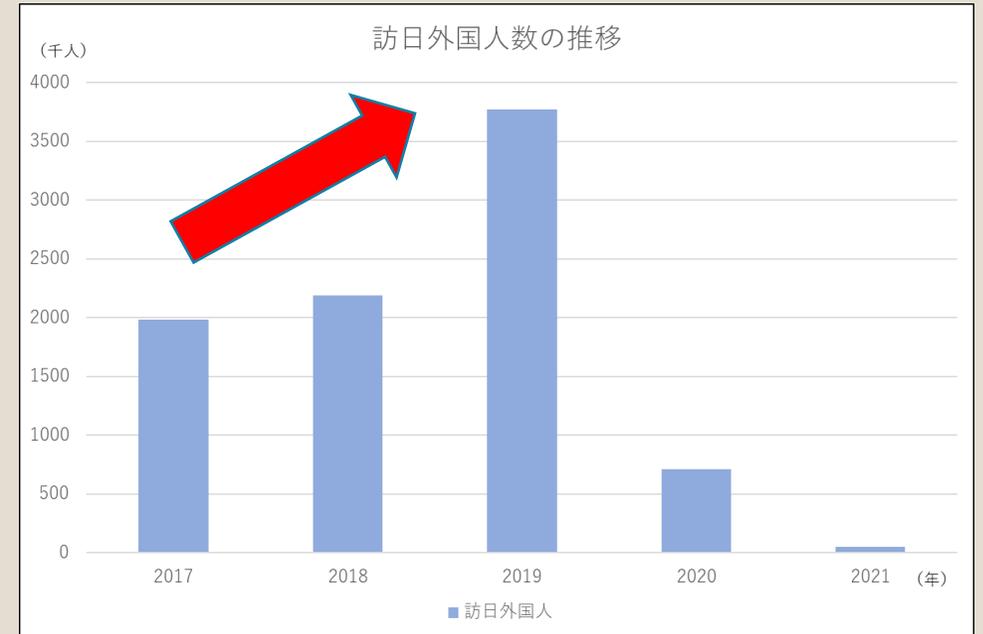
愛知県では・・・

リニアの開発

五つ星ホテルの建設

など、様々な施策

訪日外国人も増加傾向(コロナ以前)



参考：愛知県庁「観光入込客統計」

※コロナウイルスの影響を受けているため2020年以降低下



コロナの収束とともにまた増加すると推測される

1. 研究背景と目的



①TIAD
2023年7月開業予定



②エスパシオ名古屋キャッスル
2025年春開業予定



③コンラッド名古屋
2026年夏開業予定



1. 研究背景と目的

なぜホテルにしたのか



ここ数年で建設予定の
高級ホテル多数



ホテルに着目して見る！

1. 研究背景と目的

施策を行うことで経済効果は
あるのか？

どのくらいのメリットがある？
施策を推進するべき？

2. 先行研究

2-1. 先行研究の概要

2-2. 研究の流れ

2-1. 先行研究の概要

『山口県4地域間産業連関表を用いた 周遊観光が及ぼす経済効果』

https://www.jstage.jst.go.jp/article/papaios/19/3/19_72/_pdf/-char/ja

山口県山口市湯田温泉、萩市に周遊した観光客の消費の経済効果を分析したもので、山口市湯田温泉、萩市宿泊客の消費による生産波及効果を分析した。

2-1. 先行研究の概要



湯田温泉宿泊者の日本全体での直接効果は **102億 55百万円**
生産誘発額計は **232億 81百万円**（生産誘発係数は **2.27倍**）

萩市の特産品である「萩焼」の購入に基づくものと考えられる。

地方における観光消費からの生産波及効果の多くは自地域外へ漏出してしまふ。

→観光品ではなく新たに需要を生み出したらどうなるか

2-2. 研究の流れ

- ・ ホテル建設がもたらす経済波及効果を三つの観点から検証
- ① 宿泊施設等の建設に対する経済波及効果
 - ② 施設開業後の運営に対する経済波及効果
 - ③ 宿泊客による周辺での飲食、観光等における経済波及効果

結果を踏まえて今後愛知県がどのような施策をとればいいのか考察する

3. 産業連関表の理論・見方

3-1. 産業連関表の見方

3-2. 産業連関分析

3-1. 産業連関表の見方

産業連関表とは、国内経済において一定期間に行われた財・サービスの産業間取引を一つの行列に示した統計表である。

図1 産業連関表の構造

| 需要部門(買い手) | | 中間需要 | | | | 最終需要 | | | | 国内生産額 | |
|-----------|--|---------|---|-------|---------------------|------|---|--------|---|-------|-------|
| | | 1 | 2 | 3 | 計 | 消 | 資 | 在 | 輸 | | 計 |
| 供給部門(売り手) | | 農 | 鉱 | 製 | 計 | 費 | 本 | 庫 | 出 | 計 | 国内生産額 |
| | | 林 | 業 | 造 | | | | | | | |
| | | 水 | 業 | 業 | (生産される財・サービス) | | | | | | |
| | | 産 | 業 | 業 | (供給される財・サービス) | | | | | | |
| | | 業 | 業 | 業 | 生産物の販路構成(産出) | | | | | | |
| 中間投入 | | 1 | 2 | 3 | 原材料及び粗付加価値の費用構成(投入) | | | | | | |
| | | 計 | D | B* C* | | | | | | | |
| 粗付加価値 | | 家計外消費支出 | | 雇用者所得 | | 営業余剰 | | 資本減耗引当 | | 間接税 | |
| | | (控除)補助金 | | 計 | | E | | E* | | 国内生産額 | |
| | | D+E | | E* | | | | | | | |

・行方向の国内生産額(A+B-C)と列方向の国内生産額(D+E)は一致する。
 ・粗付加価値合計(E*)と最終需要-輸入(B*-C*)の合計は一致する。



縦方向(列)

と



横方向(行)

の2通りの読み方がある。

出典：総務省

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

3-1-1. 縦(列)方向に読む

各産業が生産のために投入した費用構成を表す。

中間投入額 + 粗付加価値額 = 県内総生産

表1 取引基本表

(単位:億円)

| | | 中間需要 | | 最終需要 | 生産額 |
|-------|-----|------|-----|------|-----|
| | | A産業 | B産業 | | |
| 中間投入 | A産業 | 30 | 150 | 120 | 300 |
| | B産業 | 60 | 250 | 190 | 500 |
| 粗付加価値 | | 210 | 100 | | |
| 生産額 | | 300 | 500 | | |

出典：総務省

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

3-1-2. 横(行)方向に読む

各産業が生産した商品の販路の構成を表す。

$$\text{中間需要額} + \text{最終需要額} - \text{移輸入額} = \text{県内生産額}$$

表1 取引基本表

(単位:億円)

| | | 中間需要 | | 最終需要 | 生産額 |
|-------|-----|------|-----|------|-----|
| | | A産業 | B産業 | | |
| 中間投入 | A産業 | 30 | 150 | 120 | 300 |
| | B産業 | 60 | 250 | 190 | 500 |
| 粗付加価値 | | 210 | 100 | | |
| 生産額 | | 300 | 500 | | |

出典：総務省

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

3-2. 産業連関分析

産業連関表を用いて、域内のある施策がそれぞれの産業部門にどのような経済波及効果をもたらすかを分析すること。

必要な要素

3-2-1. 投入係数

3-2-2. 逆行列係数

3-2-1. 投入係数

ある産業で、生産物を 1 単位生産するのに必要な各産業部門からの原材料の投入割合を表す。

$$\text{各産業の縦（列）の投入額} \div \text{その産業の生産額}$$

表1 取引基本表

(単位:億円)

| | | 中間需要 | | 最終需要 | 生産額 |
|-------|-----|------|-----|------|-----|
| | | A産業 | B産業 | | |
| 中間投入 | A産業 | 30 | 150 | 120 | 300 |
| | B産業 | 60 | 250 | 190 | 500 |
| 粗付加価値 | | 210 | 100 | | |
| 生産額 | | 300 | 500 | | |

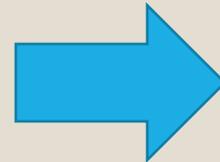


表2 投入係数表

| | A産業 | B産業 |
|-------|--|--|
| A産業 | 0.1 $\left[= \frac{30}{300} \right]$ | 0.3 $\left[= \frac{150}{500} \right]$ |
| B産業 | 0.2 $\left[= \frac{60}{300} \right]$ | 0.5 $\left[= \frac{250}{500} \right]$ |
| 粗付加価値 | 0.7 $\left[= \frac{210}{300} \right]$ | 0.2 $\left[= \frac{100}{500} \right]$ |
| 計 | 1.0 $\left[= \frac{300}{300} \right]$ | 1.0 $\left[= \frac{500}{500} \right]$ |

A産業の製品 1 単位をつくるのに A,B産業の製品をいくら必要とするか。

左表：総務省

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

3-2-1. 投入係数

ある産業で、生産物を1単位生産するのに必要な各産業部門からの原材料の投入割合を表す。

$$\text{各産業の縦（列）の投入額} \div \text{その産業の生産額}$$

表1 取引基本表

(単位:億円)

| | | 中間需要 | | 最終需要 | 生産額 |
|-------|-----|------|-----|------|-----|
| | | A産業 | B産業 | | |
| 中間投入 | A産業 | 30 | 150 | 120 | 300 |
| | B産業 | 60 | 250 | 190 | 500 |
| 粗付加価値 | | 210 | 100 | | |
| 生産額 | | 300 | 500 | | |

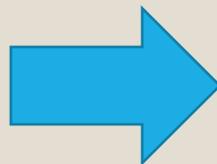


表2 投入係数表

| | A産業 | B産業 |
|-------|--|--|
| A産業 | 0.1 $\left[= \frac{30}{300} \right]$ | 0.3 $\left[= \frac{150}{500} \right]$ |
| B産業 | 0.2 $\left[= \frac{60}{300} \right]$ | 0.5 $\left[= \frac{250}{500} \right]$ |
| 粗付加価値 | 0.7 $\left[= \frac{210}{300} \right]$ | 0.2 $\left[= \frac{100}{500} \right]$ |
| 計 | 1.0 $\left[= \frac{300}{300} \right]$ | 1.0 $\left[= \frac{500}{500} \right]$ |

A産業の製品1単位をつくるのにA,B産業の製品をいくら必要とするか。

左表：総務省

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

3-2-2. 逆行列係数

無限に続く波及効果を予め数学的に計算して、読み取れるようにした係数。この係数によって需要額がわかれば、投入額を知ることができる。

$$\times \{ I - (I - \bar{M}) A \}^{-1}$$

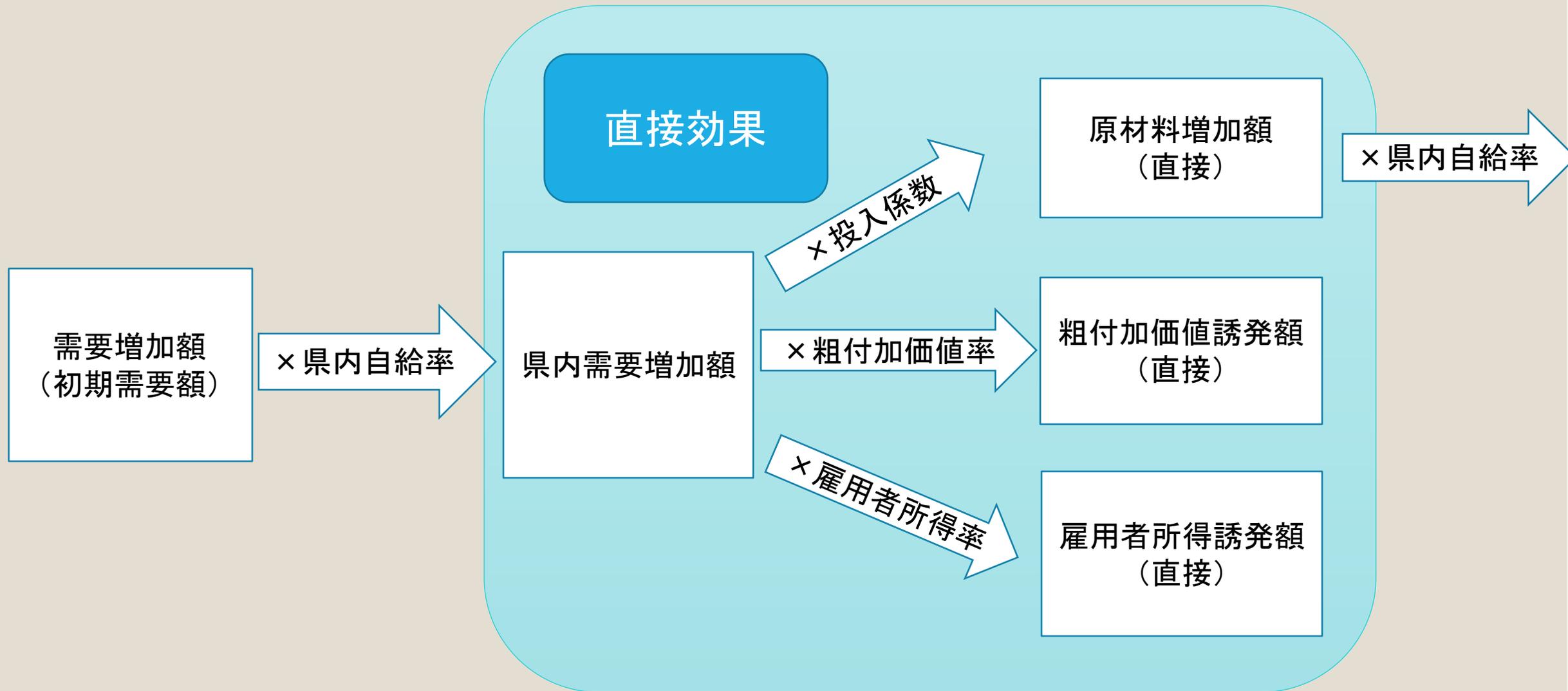
I : 単位行列 M : 輸入係数 A : 投入係数行列

4. 観光消費による経済波及効果の推計

4-1. 経済波及効果のフローチャート

4-2. 経済波及効果 算出の流れ

4-1. 経済波及効果のフローチャート



一次波及効果

× 県内自給率

県内需要増加額
(直接)

× 逆行列係数

生産誘発額
(第一次)

× 粗付加価値率

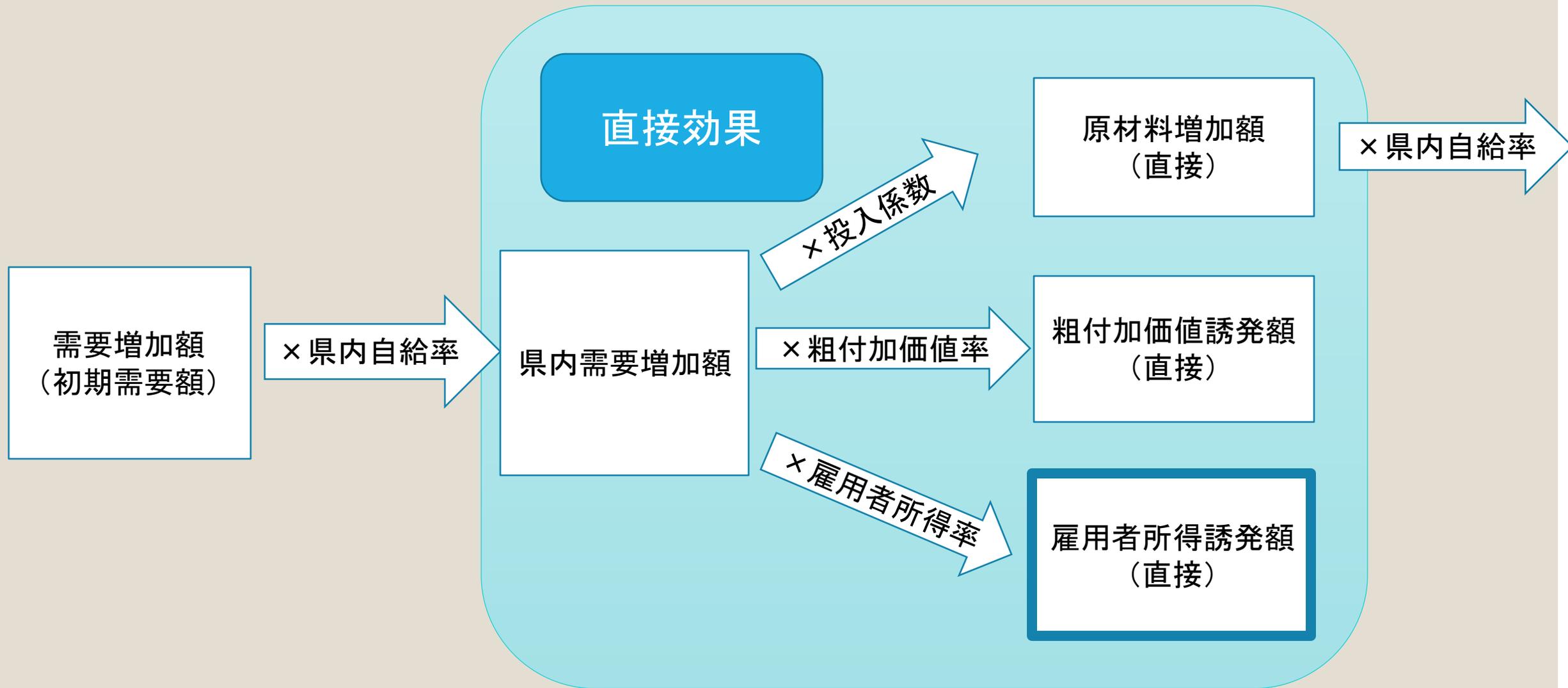
粗付加価値誘発額
(第一次)

× 雇用者所得率

雇用者所得誘発額
(第一次)

初期需要により次々県内
で生産を誘発した結果

4-1. 経済波及効果のフローチャート



一次波及効果

× 県内自給率

県内需要増加額
(直接)

× 逆行列係数

生産誘発額
(第一次)

× 粗付加価値率

粗付加価値誘発額
(第一次)

× 雇用者所得率

雇用者所得誘発額
(第一次)

初期需要により次々県内
で生産を誘発した結果

雇用者所得増加額計

雇用者所得誘発額
(直接)

+

雇用者所得誘発額
(第一次)

増加した所得のうち
消費に回るのは、、、

× 平均消費性向

消費支出増加額

× 県内自給率



經濟波及效果 = 直接效果 + 第一次波及效果 + 二次波及效果

4-2. 経済波及効果算出の流れ

4-2-1. ホテルに関連する経済波及効果

4-2-2. ホテルの概要

4-2-3. 効果算出に要する額の推定

a. ホテル建設費の推定

b. ホテル運営費の推定

c. ホテル宿泊者の観光消費額の推定

4-2-4. ホテル建設の直接効果

4-2-5. ホテル建設後客が及ぼす直接効果

4-2-1. ホテルに関連する経済波及効果

長野県飯山市で行われた

「飯山駅前ホテル建設計画」をもとに経済波及効果を計算する

- ① 宿泊施設等の建設に対する経済波及効果
 - ② 施設開業後の運営に対する経済波及効果
 - ③ 宿泊客による周辺での飲食、観光等における経済波及効果
- これら3点を名古屋駅周辺のホテル建設の場合に当てはめる



4-2-2. ホテルの概要



TIAD
地下14階地上地下1階全150室
そのうちスイートルームは13室



エスパシオ名古屋キャッスル
→地上11階地下2階全108室、
そのうちスイートルームは30室



コンラッド名古屋
→地上41階地下4階
ホテル部分1、10、11、31～40階
全166室そのうちスイートルーム33室。

4-2-3. 効果算出に要する額の推定

a. ホテル建設費の推定

ラグジュアリーホテル建設にかかる費用は坪面積あたり250～350万円
これにそれぞれの坪面積を当てはめて考える

TIAD21527m²→約6511坪

名古屋キャッスル43631m²→約13198坪

コンラッド名古屋109700m²→約33184坪(ホテル以外の商業施設も含む)

出典：<https://www.aqa-pm.co.jp/knowledge/hotel-construction-costs/>

a. ホテル建設費の推定

坪面積当たり200万円だと仮定し、

TIAD→約6511坪×200万円＝約130億円

名古屋キャッスル→約13198坪×200万円＝約264億円

コンラッド名古屋→約33184坪×200万円＝約664億円

名古屋駅再開発に応じたホテル建設費は約1058億円と求まる

b. ホテル運営費の推定

令和元年度のリゾートホテルの客室ホテル稼働率は58.6%

今後のインバウンド需要も加味し60%程度の稼働が見込めると仮定する

一般の部屋の価格を一泊5万円、

スイートルームの一泊当たりの価格を20万円としてその値で計算を行う

計算式 * 部屋数合計 × 客単価 × 日数 × 稼働率

出典 : <https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001330006.pdf>
<https://www.ikyuu.com/tokyo/140000/10013/si1d/>

b. ホテル運営費の推定

3ホテルの合計部屋数→ $150 + 108 + 166 = 424$ 部屋
そのうちスイートルーム→ $13 + 30 + 33 = 76$ 部屋
よって一般の部屋→ $424 - 76 = 348$ 部屋 となる。

先ほどの計算式*に当てはめて

一般の部屋の運営費 = 38億1060万円

スイートルームの運営費 = 33億2880万円

合計して71億2940万円

c. ホテル宿泊者の観光消費額の推定

一部屋当たりの宿泊人数を2人だと仮定した場合
合計宿泊人数は $424 \times 0.6 \times 365 = 92856$ 人

愛知県において観光消費額は2020年のデータを採用し県内、県外、外国の平均をとり、一般庶民は

一人当たり26642円消費し、総計で約24億7386万円と推定できる

高級ホテルに宿泊する富裕層は、一般庶民の約9倍消費するので、一人あたり239778円消費し、総計で222億6474万円と推定できる

c. ホテル宿泊者の観光消費額の推定

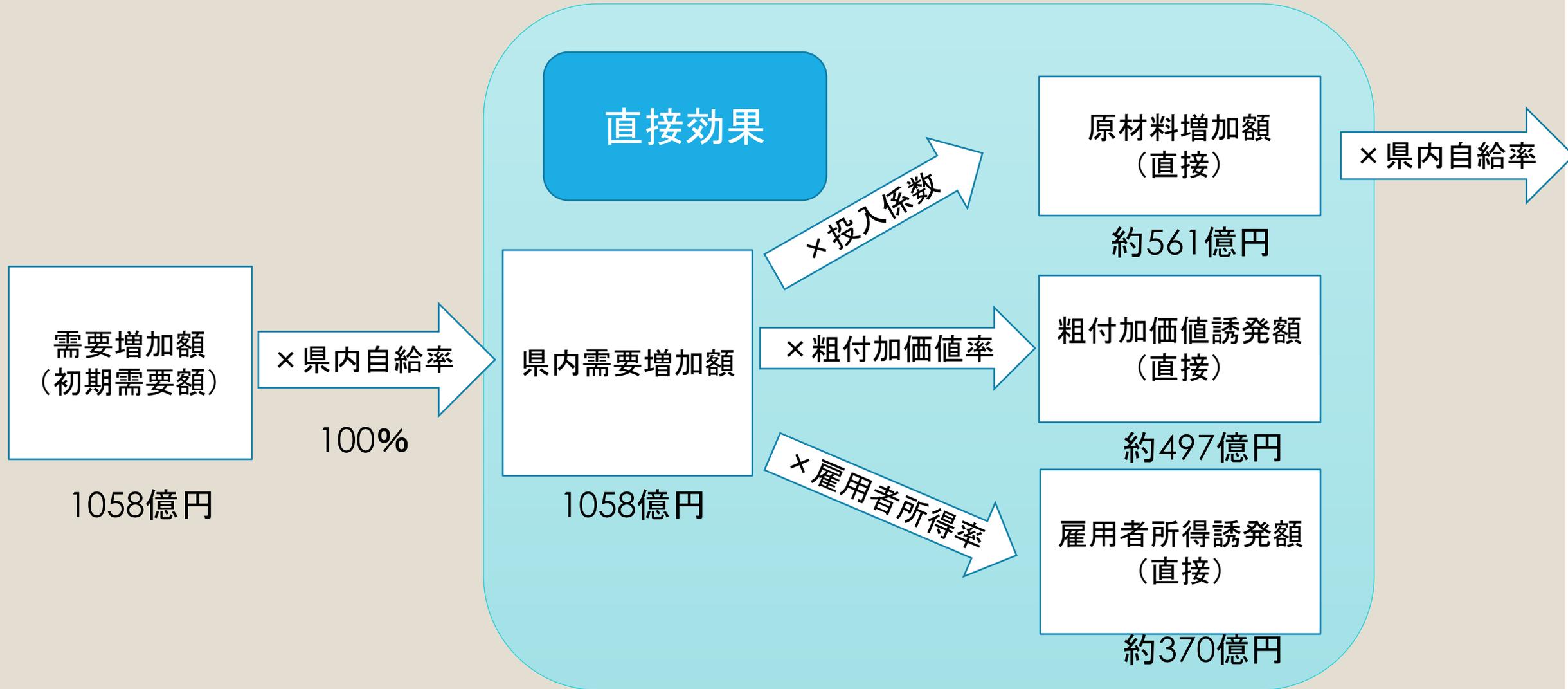
(単位:円)

| | | 県内(※1) | | | 県外(※1) | | | 訪日外国人 | | |
|--------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-----|
| | | 2021 | 2020 | 前年比 | 2021 | 2020 | 前年比 | 2021 | 2020 | 前年比 |
| 観光目的 (※2) | 宿泊 | 17,873 | 17,919 | 99.7% | 21,867 | 24,427 | 89.5% | 欠測 | 37,582 | - |
| | 日帰り | 2,646 | 3,099 | 85.4% | 3,695 | 4,509 | 82.0% | 欠測 | 5,595 | - |
| ビジネス (※2) | 宿泊 | 25,295 | 6,200 | 408.0% | 24,953 | 27,519 | 90.7% | 欠測 | 96,386 | - |
| | 日帰り | 5,471 | 2,886 | 189.6% | 4,681 | 3,861 | 121.2% | 欠測 | 8,028 | - |

※1 表中「県内」とは「県内居住者」、「県外」とは「県外居住者」をいう。

※2 表中、「観光目的」とは「観光目的」及び「帰省・知人訪問」、「ビジネス」とは「ビジネス目的兼観光」をいう。

4-2-4. ホテル建設の直接効果



原材料増加額について

県内需要増加額に建築部門の投入係数をかけたものが原材料増加額に該当する

| | | | | |
|-------|----|----|----------|----------|
| 1,058 | 01 | 農業 | 0.000979 | 1.035782 |
|-------|----|----|----------|----------|

一番上の場合、農業分野に投資額の0.979%が使用され1億円原材料が増加したことを表す

| 統合大分類 (43部門) | 41 | | 需要増加額 |
|--------------|----|--------------|------------|
| | 建設 | | |
| 1,058 | 01 | 農業 | 1.035782 |
| | 02 | 林業 | 0.034914 |
| | 03 | 漁業 | 0 |
| | 06 | 鉱業 | 6.335304 |
| | 11 | 飲食品 | 0.01587 |
| | 15 | 繊維製品 | 3.25864 |
| | 16 | パルプ・紙・本製品 | 59.860582 |
| | 20 | 化学製品 | 5.885654 |
| | 21 | 石油・石炭製品 | 12.6431 |
| | 22 | プラスチック製品 | 12.63252 |
| | 23 | ゴム製品 | 1.517172 |
| | 24 | 陶磁器 | 3.254408 |
| | 25 | その他の窯業・土石製品 | 52.277896 |
| | 26 | 鉄鋼 | 23.782782 |
| | 27 | 非鉄金属 | 8.900954 |
| | 28 | 金属製品 | 96.96041 |
| | 29 | はん用機械 | 6.172372 |
| | 30 | 生産用機械 | 0.073002 |
| | 31 | 業務用機械 | 0.184092 |
| | 32 | 電子部品 | 0.341734 |
| | 33 | 電気機械 | 8.422738 |
| | 34 | 情報通信機器 | 1.67164 |
| | 35 | 自動車 | 0 |
| | 36 | 航空機 | 0 |
| | 37 | その他の輸送機械 | 0 |
| | 39 | その他の製造工業製品 | 3.699826 |
| | 41 | 建設 | 0.083582 |
| | 46 | 電力・ガス・熱供給 | 3.58662 |
| | 47 | 水道 | 0.797732 |
| | 48 | 廃棄物処理 | 1.901226 |
| | 51 | 商業 | 59.62359 |
| | 53 | 金融・保険 | 13.168926 |
| | 55 | 不動産 | 5.01492 |
| | 57 | 運輸・郵便 | 46.32982 |
| | 59 | 情報通信 | 9.031088 |
| | 61 | 公務 | 0 |
| | 63 | 教育・研究 | 0.167164 |
| | 64 | 医療・福祉 | 0 |
| | 65 | 社会福祉活動 | 1.060116 |
| | 66 | 付帯業務サービス | 94.879324 |
| | 67 | 対個人サービス | 0.263442 |
| | 68 | 事務用品 | 0.990288 |
| | 69 | 分類不明 | 15.516628 |
| | 70 | 内生部門計 | 561.3748 |
| | 71 | 経計外所得支出 (IT) | 22.174622 |
| | 91 | 雇用者所得 | 370.803608 |
| | 92 | 営業余剰 | 29.95198 |
| | 93 | 資本減耗引当 | 39.467632 |
| | 94 | 繰上利益剰余金 | 39.126956 |
| | 95 | (臨時) 経常補助金 | -4.899598 |
| | 96 | 粗付加価値部門計 | 496.6252 |
| | 97 | 県内生産額 | 1058 |

一次波及効果

× 県内自給率

県内需要増加額
(直接)

約311億円

× 逆行列係数

生産誘発額
(第一次)

約426億円

× 粗付加価値率

粗付加価値誘発額
(第一次)

約217億円

× 雇用者所得率

雇用者所得誘発額
(第一次)

約114億円

雇用者所得増加額計

雇用者所得誘発額
(直接)

約370億円



= 484億円

雇用者所得誘発額
(第一次)

約114億円

× 平均消費性向

0.734

消費支出増加額

約355億

× 県内自給率



× 県内自給率

県内需要増加額

約247億円

× 逆行列係数

二次波及効果

生産誘発額
(第二次)

約318億円

× 粗付加価値率

粗付加価値誘発額
(第二次)

約198億円

× 雇用者所得率

雇用者所得誘発額
(第二次)

約76億円



①ホテル建設まとめ

単位（億円）

| | 生産誘発額 | 粗付加価値誘発額 | 雇用者所得誘発額 |
|------|-------|----------|----------|
| 直接効果 | 1058 | 497 | 370 |

| | 原材料増加額 | 粗付加価値誘発額 | 雇用者所得誘発額 |
|-----------|--------|----------|----------|
| 第一次間接波及効果 | 426 | 217 | 114 |

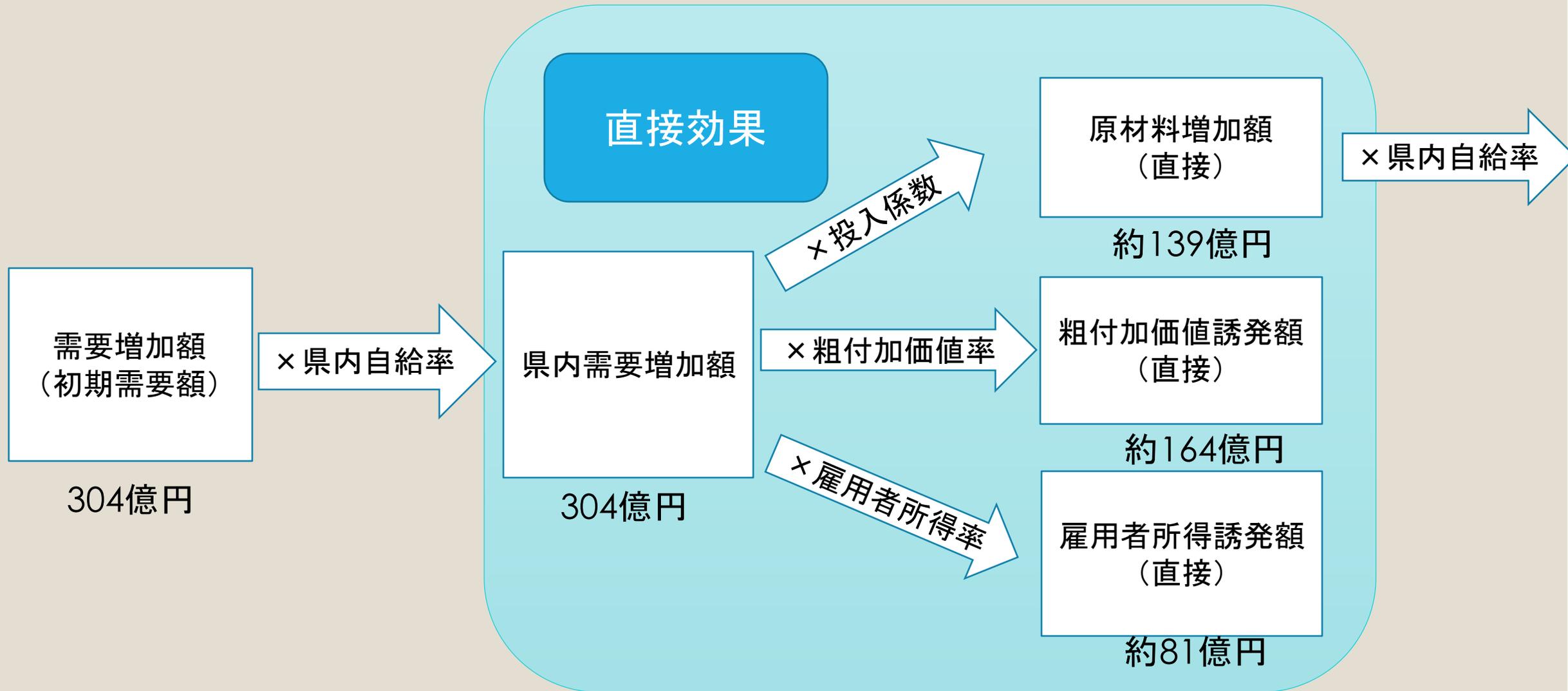
| | 原材料増加額 | 粗付加価値誘発額 | 雇用者所得誘発額 |
|-----------|--------|----------|----------|
| 第二次間接波及効果 | 318 | 198 | 76 |

①ホテル建設まとめ

単位（億円）

| | 直接効果 | 第一次間接波及効果 | 第二次間接波及効果 | 効果計 |
|----------|------|-----------|-----------|---------|
| 生産誘発額 | 1058 | 426 | 318 | 1802 |
| | | | | (1.70倍) |
| 粗付加価値誘発額 | 497 | 217 | 198 | 912 |
| 雇用者所得誘発額 | 370 | 114 | 76 | 560 |

4-2-5. ホテル建設後客が及ぼす直接効果



一次波及効果

× 県内自給率

県内需要増加額
(直接)

約86億円

× 逆行列係数

生産誘発額
(第一次)

約36億円

× 粗付加価値率

粗付加価値誘発額
(第一次)

約51億円

× 雇用者所得率

雇用者所得誘発額
(第一次)

約25億円

雇用者所得増加額計

雇用者所得誘発額
(直接)

約81億円



= 106億円

雇用者所得誘発額
(第一次)

約25億円

× 平均消費性向

0.734

消費支出増加額

約78億

× 県内自給率



県内自給率

県内需要増加額

約48億円

× 逆行列係数

二次波及効果

生産誘発額
(第二次)

約21億円

× 粗付加価値率

粗付加価値誘発額
(第二次)

約13億円

× 雇用者所得率

雇用者所得誘発額
(第二次)

約5億円



① 宿泊客の消費まとめ

単位（億円）

| | 生産誘発額 | 粗付加価値誘発額 | 雇用者所得誘発額 |
|------|-------|----------|----------|
| 直接効果 | 139 | 164 | 81 |

| | 生産誘発額 | 粗付加価値誘発額 | 雇用者所得誘発額 |
|-----------|-------|----------|----------|
| 第一次間接波及効果 | 36 | 51 | 25 |

| | 生産誘発額 | 粗付加価値誘発額 | 雇用者所得誘発額 |
|-----------|-------|----------|----------|
| 第二次間接波及効果 | 21 | 13 | 5 |

② 宿泊客の消費まとめ

単位（億円）

| | 直接効果 | 第一次間接波及効果 | 第二次間接波及効果 | 効果計 |
|----------|------|-----------|-----------|---------|
| 生産誘発額 | 139 | 36 | 21 | 196 |
| | | | | (1.41倍) |
| 粗付加価値誘発額 | 164 | 51 | 13 | 228 |
| 雇用者所得誘発額 | 81 | 25 | 5 | 111 |

5. まとめ

5-1. 考察

5-2. 課題

5-1. 考察

- 日本人の富裕層の人数は限られている→外国人の富裕層の数を増やす政策を考えられたら、もっと経済波及効果を増やすことができるかもしれない。
- 名古屋のホテルだけで考えて、これだけの経済波及効果があることがわかった。もちろん、他の様々な要因（立地、交通の便など）を考慮しなければならないが、都市だけではなく、地方も活性化させる要因になり得る。
- 高級ホテルを通じて生み出せる経済波及効果の大きさから、高級ホテルを建てることの経済に対する重要性が伺える。高級ホテルを軸に観光を推奨していく方法も効果的であると考えられる。

5-2. 課題

- 名古屋（愛知）に有名な観光スポットが少ないので、ホテルを建てたことで今回検証した結果のような経済波及効果が現われるとは限らない。長期的なプランが必要→そういう観光スポットを作ることにより大きな効果が期待できる
- 日本人の富裕層の人数は限られている→外国人の富裕層の数を増やす政策を考えることができたなら、もっと経済波及効果を増やすことができるかもしれない。
- 観光消費に対する国、県の詳細な調査が行われておらず、推定でおおまかな数値を出さなければならないところがいくつかあった。
- 日本人と外国人の富裕層の客数の違いを考慮してないため、観光消費額に差が出てきてしまう。

参考文献

- ・ 2021年愛知県観光入込客統計の調査結果(概要)

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/432170.pdf>

- ・ 2019年愛知県観光入込客統計

<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/irikomi/2019irikomi.pdf>

- ・ 2018年愛知県観光入込客統計

<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/irikomi/2018irikomi.pdf>

- ・ 平成29年愛知県観光入込客統計

<https://www.pref.aichi.jp/kanko/menu/toukei/irikomi/29irikomi.pdf>

参考文献

- ・ 山口県4地域間産業連関表を用いた周遊観光が及ぼす経済効果（2011.10） 野村 淳一・木下 真・齋藤 英智・朝日 幸代

https://www.jstage.jst.go.jp/article/papaios/19/3/19_72/pdf/-char/ja

- ・ 総務省「産業連関表/産業連関表の仕組み」

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

- ・ 総務省「産業連関表/統計表一覧」

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/data/io/system.htm

- ・ 長野県飯山市公式サイト「飯山駅前へのホテルの誘致について」

<https://www.city.iiyama.nagano.jp/soshiki/shoukou/shoukou/50228/50225>

- ・ 観光庁「宿泊旅行統計調査」

<https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001330006.pdf>

- ・ 一休公式サイト

<https://www.ikyuu.com/tokyo/140000/10013/sid/>

ご清聴ありがとうございました。